

事業計画（宮城県亶理町）

1. 海岸対策

①海岸の状況

町内の地区海岸数	3 地区海岸
被災した地区海岸数	3 地区海岸
応急対策を実施した地区海岸数	3 地区海岸
本復旧を実施する地区海岸数	3 地区海岸
復興を実施する地区海岸	1 地区海岸

②堤防高

平成 23 年 9 月 9 日に堤防高を公表※。

仙台湾南部海岸② : T.P. 7.2m（対象：高潮）

※公表した堤防高を基本に、環境保全、周辺環境との調和、経済性、維持管理の容易性、施工性、公衆の利用等を総合的に考慮して決定する。

③復旧・復興の予定

復旧する施設の概要計画については、平成 23 年 12 月までに策定済み。

これに基づく本復旧工事については、平成 24 年 1 月より順次工事に着手し、概ね平成 28 年度での完了を目指す。

復興する施設の概要計画については、平成 24 年 11 月までに策定済み。

これに基づく復興工事については、平成 26 年 8 月より順次工事に着手し、概ね平成 29 年度での完了を目指す。

④平成 26 年度における成果

- ・全ての復旧工事で事業の進捗を図った。（累計 3 地区海岸）
- ・全ての復興工事で着工した。（累計 1 地区海岸）

⑤平成 27 年度の成果目標（集中復興期間の成果目標）

- ・新たに、1 地区海岸で本復旧工事の完了を目指す。（累計 1 地区海岸）
- ・全ての地区海岸において復興工事の事業進捗を図る。

⑥事業完了予定年度

概ね平成 29 年度での完了を目指す。

⑦その他

- ・ 地区海岸毎の計画等については別添一覧表に記載。

海岸保全施設の復旧・復興にかかる事業計画

市町村	地区海岸名	堤防護岸 延長 (m)	主な施設	施設の高さ (T.P)		応急 対策	復旧・復興の予定						H26年度の 実施内容等	H27年度の 実施内容等	その他の場合に詳細を 記載	備考	
				被災前 現況高 (m)	被災後 復旧高 (m)		概要計 画策定	詳細計 画策定	左記の 実施状 況	工事 着工	左記の 実施状 況	工事 完了					左記の 実施状 況
亶理町	吉田砂浜	3,596	堤防, 離岸堤	6.20	7.20	完了	H23.10	H23.12	策定済み	H24.1	着工済み	H28.6	完了予定	本工事	本工事		復旧
亶理町	鳥の海(大畑浜)	3,252	堤防, 防潮水門	3.00	3.60	完了	H23.10	H23.12	策定済み	H24.10	着工済み	H28.9	完了予定	本工事	本工事		復旧
亶理町	荒浜漁港	2,351	堤防, 離岸堤	6.20 2.15	7.20 3.60	完了	H23.12	H24.6	策定中	H24.2	着工済み	H28.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
亶理町	荒浜漁港	924	堤防270m胸壁380m、陸閘2基	2.15	7.203.60	一	H24.11	H26.8	策定予定	H26.8	着工済み	H30.3	完了予定	本工事	本工事		復興

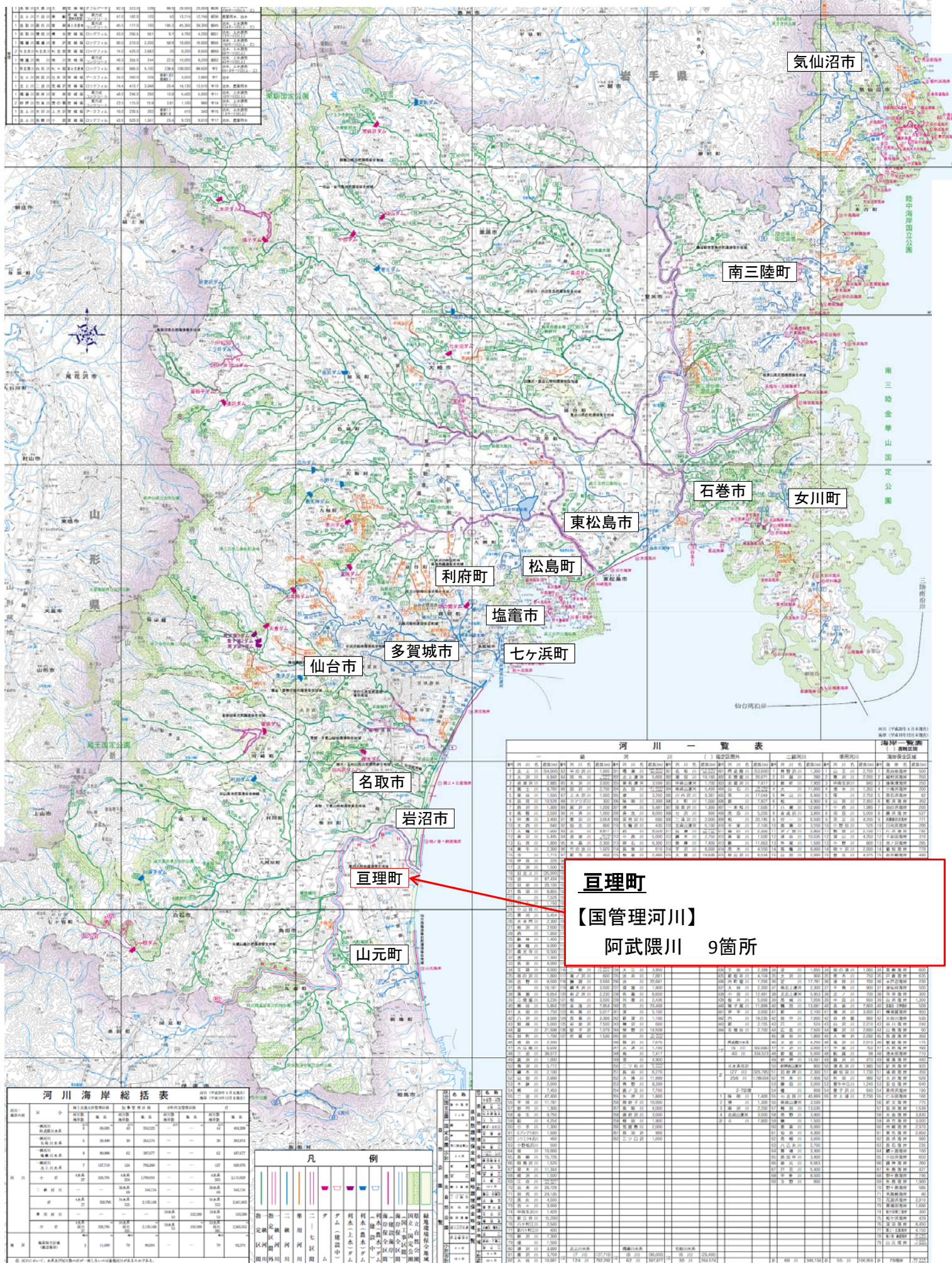
2. 河川対策

【国管理河川（阿武隈川）】

- ①阿武隈川※ 1 では、亘理町で 9 箇所（阿武隈川では 58 箇所）の堤防の亀裂、沈下や護岸の崩壊等の被災があり、平成 24 年出水期（6 月頃～）までに、被災前と同程度の安全水準を確保する本復旧を全て完了。
- ②今後、津波の遡上が想定される区間については、海岸堤防の整備計画及び市町村が策定する復興計画と整合を図りながら、引き続き、本復旧工事に加えて必要な地震・津波対策として、堤防整備や液状化対策等を実施し、平成 27 年度内を目途に全箇所を完了させることを目標とする。
- ③地盤沈下により、浸水リスクが増大していることから大雨等による家屋等の浸水被害に備え、排水ポンプ車を機動的に運用できるよう増強配備し、運用体制を整えるとともに、住民の円滑な警戒避難を支援するため、浸水リスクマップの作成・公表や浸水センサー（1 箇所）を設置し、リアルタイムの浸水関連情報を提供。また、平成 23 年出水期間中においては、避難判断水位等を引き下げて運用していたが、堤防の本復旧完了に伴い、平成 24 年 7 月に通常水準への見直しを実施。
- ④平成 26 年度における成果
本復旧工事に加えて必要な地震・津波対策として、堤防整備や液状化対策等に順次着手し、一部区間で完了。
- ⑤平成 27 年度の成果目標
今後、津波の遡上が想定される区間について、本復旧工事に加えて必要な地震・津波対策として堤防整備や液状化対策等を継続実施する。
- ⑥事業完了予定年度
平成 27 年度

※ 1 位置図を参照

図面：宮城県提供



3. 下水道対策

①箇所名

1. 吉田地区 （下水道整備事業：災害公営住宅建設及び防災集団移転促進事業に係る移転先地整備に併せた下水道の整備）
2. 荒浜排水区 （荒浜雨水ポンプ場吐出槽改良事業：東日本大震災による広域的な地盤沈下及び阿武隈川河川堤防の嵩上げ復旧に伴う荒浜雨水ポンプ場吐出槽の改良）

②今までの整備内容

1. 吉田地区 下水道整備事業については、平成 24 年度から工事に着手し、平成 26 年 6 月末までに整備完了。
2. 荒浜排水区 荒浜雨水ポンプ場吐出槽改良事業については、現在詳細設計を実施している。

③平成 26 年度における成果

1. 吉田地区 下水道整備については、既に供用を開始しており、整備済。
2. 荒浜排水区 荒浜雨水ポンプ場吐出槽改良事業については、未着手。

④平成 27 年度の成果目標（集中復興期間の成果目標）

荒浜排水区 荒浜雨水ポンプ場吐出槽改良事業については、現在詳細設計を実施中、平成 27 年 8 月末を目標に成果を上げ、今後、引き続き工事着手を行いたい、平成 28 年 3 月末完成を目指し事業実施する。

⑤事業完了予定年度

平成 27 年度予定

4. 交通網

自治体管理道路

(一) 荒浜港今泉線

①箇所（工区）名：荒浜（１）

②荒浜（１）については、亘理町の復興まちづくり事業地と重複箇所があることから調整が必要。

また、調整次第では重変（減工）・廃工の可能性が生じる可能性がある。

③平成 26 年度における成果
事業調整

④平成 27 年度の成果目標（集中復興期間の成果目標）
重複事業との調整完了。

⑤事業完了予定年度
平成 29 年度

(町) 長瀬浜吉田浜線外 8 路線

①箇所（工区）名：一級町道長瀬浜吉田浜線 亘理町吉田字松ヶ崎山 地内

②町道長瀬浜吉田浜線については、現在未着手。

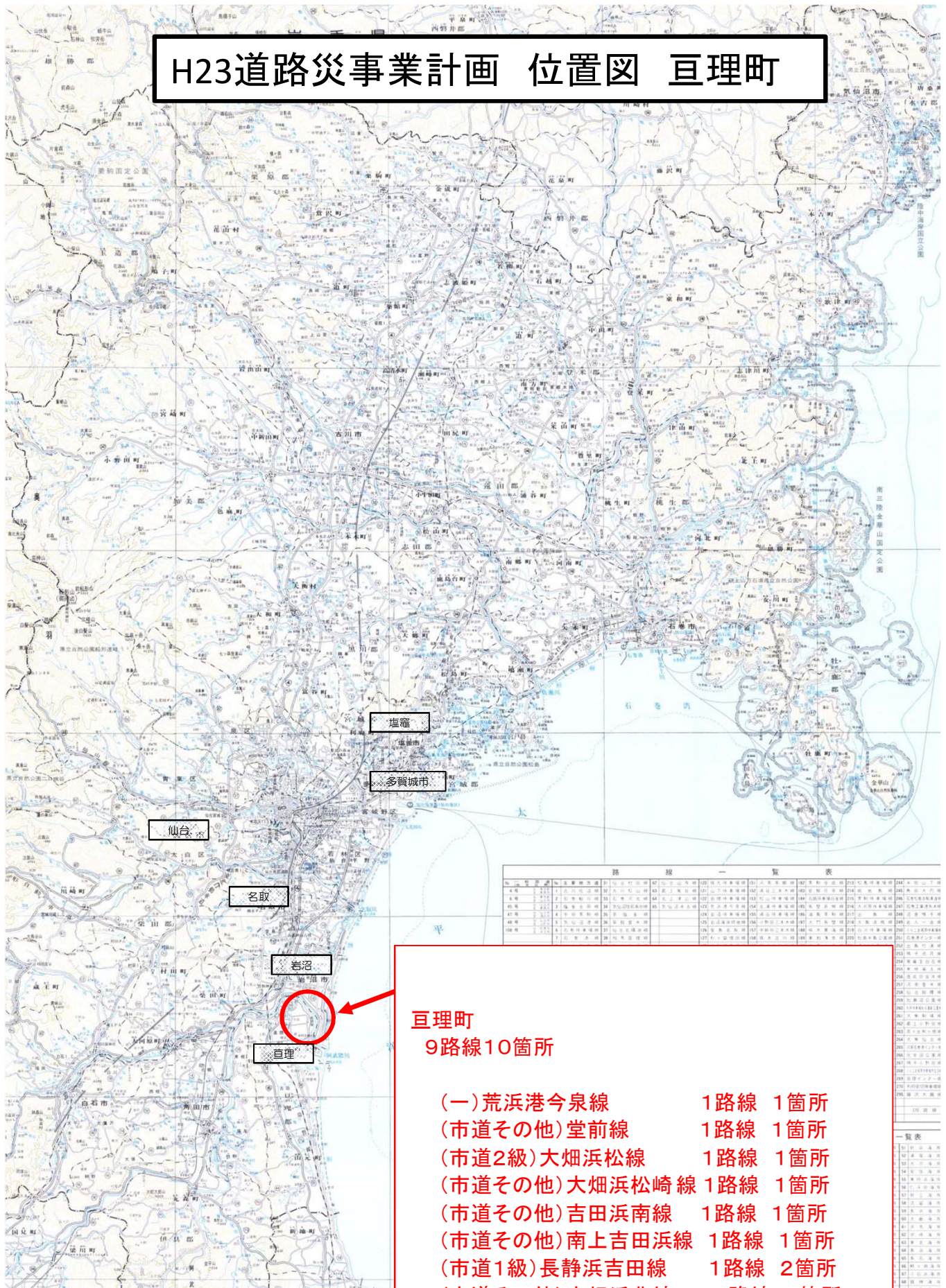
③町道長瀬浜吉田浜線については、平成 28 年度末までに復旧を完了する予定。

④平成 26 年度における成果
圃場整備との協議

⑤平成 27 年度の成果目標（集中復興期間の成果目標）
町道長瀬浜吉田浜線外 8 路線 実施設計完了

⑥事業完了予定年度
平成 28 年度

H23道路災事業計画 位置図 亘理町



亘理町
9路線10箇所

- (一)荒浜港今泉線 1路線 1箇所
- (市道その他)堂前線 1路線 1箇所
- (市道2級)大畑浜松線 1路線 1箇所
- (市道その他)大畑浜松崎線 1路線 1箇所
- (市道その他)吉田浜南線 1路線 1箇所
- (市道その他)南上吉田浜線 1路線 1箇所
- (市道1級)長静浜吉田線 1路線 2箇所
- (市道その他)大畑浜北線 1路線 1箇所

路 線 一 覧 表	
1 荒浜港今泉線	2 堂前線
3 大畑浜松線	4 大畑浜松崎線
5 吉田浜南線	6 南上吉田浜線
7 長静浜吉田線	8 大畑浜北線
9 大畑浜南線	10 大畑浜北線
11 大畑浜南線	12 大畑浜北線
13 大畑浜南線	14 大畑浜北線
15 大畑浜南線	16 大畑浜北線
17 大畑浜南線	18 大畑浜北線
19 大畑浜南線	20 大畑浜北線
21 大畑浜南線	22 大畑浜北線
23 大畑浜南線	24 大畑浜北線
25 大畑浜南線	26 大畑浜北線
27 大畑浜南線	28 大畑浜北線
29 大畑浜南線	30 大畑浜北線
31 大畑浜南線	32 大畑浜北線
33 大畑浜南線	34 大畑浜北線
35 大畑浜南線	36 大畑浜北線
37 大畑浜南線	38 大畑浜北線
39 大畑浜南線	40 大畑浜北線
41 大畑浜南線	42 大畑浜北線
43 大畑浜南線	44 大畑浜北線
45 大畑浜南線	46 大畑浜北線
47 大畑浜南線	48 大畑浜北線
49 大畑浜南線	50 大畑浜北線
51 大畑浜南線	52 大畑浜北線
53 大畑浜南線	54 大畑浜北線
55 大畑浜南線	56 大畑浜北線
57 大畑浜南線	58 大畑浜北線
59 大畑浜南線	60 大畑浜北線
61 大畑浜南線	62 大畑浜北線
63 大畑浜南線	64 大畑浜北線
65 大畑浜南線	66 大畑浜北線
67 大畑浜南線	68 大畑浜北線
69 大畑浜南線	70 大畑浜北線
71 大畑浜南線	72 大畑浜北線
73 大畑浜南線	74 大畑浜北線
75 大畑浜南線	76 大畑浜北線
77 大畑浜南線	78 大畑浜北線
79 大畑浜南線	80 大畑浜北線
81 大畑浜南線	82 大畑浜北線
83 大畑浜南線	84 大畑浜北線
85 大畑浜南線	86 大畑浜北線
87 大畑浜南線	88 大畑浜北線
89 大畑浜南線	90 大畑浜北線
91 大畑浜南線	92 大畑浜北線
93 大畑浜南線	94 大畑浜北線
95 大畑浜南線	96 大畑浜北線
97 大畑浜南線	98 大畑浜北線
99 大畑浜南線	100 大畑浜北線

5. 農地・農業用施設

①被災状況

津波により約 2,050ha の農地及び排水機場、排水路等の基幹的農業用施設に甚大な被害

②施設の復旧

○応急復旧状況

大畑浜排水機場、橋本堀排水路等の基幹的排水施設について実施済み

○本格的復旧復興計画を踏まえて着手し、概ね5年以内の完了を目指す。

平成25年度内に、大塚揚水機場や九号排水路等について復旧完了。

平成26年度内に、吉田排水機場等について復旧完了。

○国の直轄災害復旧

長瀬浜排水機場は、平成24年度に着手し、平成26年度で完了。

大畑浜排水機場は、平成24年度に着手し、平成27年度で完了予定。

平成25年度内に、高屋堀排水路等について復旧完了。

○平成27年度の成果目標（集中復興期間の成果目標）

平成27年度までに復旧対象となる全5排水機場で復旧が完了予定。

○事業完了予定年度 平成28年度

③農地の復旧

復興計画等に基づく各種工程と調整を図りながら、早期の復旧を目指す。

○平成23年度当初から既に営農が可能な農地 約174ha

○平成24年度から営農が可能な農地 約830ha

○平成25年度から営農が可能な農地 約716ha

○平成28年度から営農再開を目指す農地 約135ha

○平成29年度以降の営農再開を目指す農地 約138ha

○平成27年度の成果目標（集中復興期間の成果目標）

平成28年度春の作付時期から、津波被災農地約2,050haのうち約1,855ha（約90%）で営農が可能となる見込み。

○事業完了予定年度 平成29年度

現時点における農地復旧の見通しを示したものであり、今後の地元調整等により、面積は変わり得るもの。

④区画整理等検討状況

亘理地区において、大区画化等の区画整理を実施しているところ。

6. 海岸防災林の再生

①箇所名：亘理町

②被災状況

防潮堤 790mが津波により流失した。また、林帯地盤 105.6ha が地震により地盤沈下するとともに、津波により大きく侵食され、森林 105.6ha が流失した。

③事業計画の内容

被災した防潮堤（790m）については、治山施設災害復旧事業により復旧する。
また、被災した林帯地盤（105.6ha）の復旧については、国が民有林直轄治山施設災害復旧事業により復旧する。被災した森林（105.6ha）については、国が民有林直轄治山事業により整備する。

④これまでの実施状況と今後の予定

防潮堤の復旧工事については、平成 24 年度に着手し、平成 26 年度に完了した。
林帯地盤の復旧工事については、他事業との調整を図りつつ、平成 24 年度に着手した。森林の造成については、林帯地盤の復旧が完了した箇所から順次、植栽に着手し、平成 32 年度の完了を目指す。

⑤平成 26 年度における成果

治山施設災害復旧事業： 林帯地盤約 8ha の盛土を実施。

防災林造成事業： 植栽工約 8ha の実施。

⑥平成 27 年度の成果目標（集中復興期間の成果目標）

治山施設災害復旧事業： 林帯地盤 41ha の盛土を実施。

防災林造成事業： 防風工 740m を実施。

⑦事業完了予定年度

平成 32 年度

（保全対象：国道 123 号線、農地、人家（吉田地区他））

①箇所名：亘理地区（国有林）

②被災状況

津波により森林 19ha が被災した。

③事業計画の内容

被災した林帯地盤については、治山施設災害復旧事業により復旧する。被災した森林については、防災林造成事業により整備する。

④これまでの実施状況と今後の予定

被災した林帯については、一部がれき置場として地方自治体に貸し付けていたが、平成 25 年度末で災害廃棄物処理が完了したことに伴いがれき置き場が解消された。今後、町復興計画及び他事業との調整を図りつつ着手可能な箇所から順次実施する。

盛土等海岸防災林の林帯地盤の復旧は平成 26 年度に着手した。森林造成については、林帯地盤の復旧後、防風工の施工等が完了した箇所から順次、植栽に着手し、全体の復旧については、平成 32 年度の完了を目指す。

（保全対象：国道 123 号線、農地、人家（吉田地区他））

（なお、国有林内については、国有林野内直轄治山施設災害復旧事業等により国が直接実施する。）

⑤平成 26 年度における成果

復旧事業の着手に向けて調整を行った。

⑥平成 27 年度の成果目標（集中復興期間の成果目標）

治山施設災害復旧事業： 林帯地盤 7ha の盛土を実施。

⑦事業完了予定年度

平成 32 年度

7. 漁港

①被害状況

漁港数：1 漁港

被災漁港数：1 漁港

②スケジュール

亘理町内の荒浜漁港において、平成 25 年度末時点で、全延長の陸揚げ機能が回復している。

今後、平成 27 年度までに主要な漁港施設の復旧を目指し、平成 28 年度までに、防潮堤と隣接する臨港道路等の漁港施設の復旧の完了を目指す。

8. 復興まちづくり

(1) 学校施設等

①幼稚園・小中高等学校等

(i) 公立学校

<亘理町立学校>

東日本大震災により被災した町立学校のうち、公立学校施設の災害復旧に係る国庫補助に申請した7校について、以下のとおり、早期の復旧を目指す。

○比較的軽微な被害に留まる4校のうち2校については、平成24年度内に復旧完了した

他の2校のうち1校について、校舎関係の復旧は平成24年度内に完了しており、プールは平成26年4月に復旧完了した。もう1校は、校舎・プールについて平成25年度内に復旧完了した。

○甚大な津波被害を受け、移転も含めた総合的な検討が必要となる3校のうち、荒浜小学校については、平成24年度に着手し平成25年2月25日に校舎・体育館の復旧工事が完了した。また、プールについては平成26年度に実施設計、平成27年度に復旧完了を目標とする。長瀬小学校については、平成24年度中に仮設校舎を建設するとともに、当町の震災復興計画に基づき平成24年度内に事業着手し、平成26年7月に復旧完了した。

荒浜中学校についても、当町の震災復興計画に基づき平成24年度内に事業着手し、平成26年7月に復旧完了した。

<県立学校>

亘理町に所在する県立学校のうち、東日本大震災により被災し、公立学校施設の災害復旧に係る国庫補助に申請した1校については、比較的軽微な被害に留まり、平成23年度内に復旧完了した。

②公立社会教育施設（公立社会体育施設を含む）

<町立社会教育施設>

東日本大震災により被災した亘理町社会教育施設のうち、公立社会教育施設の災害復旧に係る国庫補助に申請予定の7施設について、次のとおり早期の復旧をめざす。

○比較的軽微な被害にとどまる4施設のうちB&G海洋センタープール、佐藤記念体育館については、平成23年度で復旧完了。

中央公民館、悠里館（図書館・郷土資料館）については、平成24年度で復旧完了。

○甚大な被害を受けた荒浜体育館、吉田体育館の2施設については、併設する荒浜支

所、吉田支所の復旧と併せて平成 25 年 7 月再開。

○流失した B & G 海洋センター艇庫については、平成 27 年度に鳥の海湾防潮堤整備が完了予定であり、その後に着工予定。

(2) 造成宅地滑動崩落緊急対策

①地区名：長瀬地区

②東日本大震災復興交付金を活用して、平成 24 年度から造成宅地滑動崩落緊急対策工事に着手。25 年度末までに工事完了。

③平成 26 年度における成果
なし（事業完了のため）

④平成 27 年度の成果目標
なし（事業完了のため）

⑤事業完了予定年度
なし（事業完了のため）

9. 土砂災害対策

- ①平成 23 年 8 月末までに、町内約 40 箇所の土砂災害危険箇所の点検を実施。
- ②最大震度 6 弱を観測した亘理町では、地震により地盤が脆弱になっている可能性が高く、降雨による土砂災害の危険性が通常よりも高いと考えられるため、県と気象台が連携し、平成 23 年 3 月より土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用していたが、降雨と土砂災害発生状況を考慮して基準を見直し、平成 25 年 5 月に通常基準への引き上げを実施。

10. 災害廃棄物の処理

①推計量について

東日本大震災においては、地震による大規模な津波及び地震による建物の倒壊等により膨大な量の災害廃棄物等約 855 千トン（災害廃棄物が約 475 千トン、津波堆積物が約 380 千トン）発生した。

②搬入状況について

住民が生活している場所の近くの災害廃棄物については、平成 23 年 8 月中に仮置場へ概ね搬入した。その他の災害廃棄物（損壊家屋等の解体により生じた災害廃棄物を含む。）、津波堆積物についても、平成 25 年 7 月末までに仮置場への搬入は完了した。

③処理状況について

平成 25 年 11 月末までに、災害廃棄物等約 855 千トン（災害廃棄物が約 475 千トン、津波堆積物が約 380 千トン）の処理をすべて完了した。

11. 都市公園

①箇所名：鳥の海公園、築港公園

②被災状況

津波により、ほぼ全ての施設が流失及び破損

③平成 27 年度の成果目標

都市災害復旧事業により、遊具施設、多目的広場、野球場、陸上競技場兼サッカー場等の復旧工事に着手し、事業の進捗を図る。

④事業完了予定年度

平成 28 年度

復興施策の工程表(宮城県亘理町)

